

# トンボ調査会

ジュンサイを残そう市民の会

2023年5月14日(日)

例年一般の参加者を募集して『トンボ観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)



曇り空のため、大きいトンボの飛翔は見込めなかったため、今回はイトトンボ類を中心に搜索しました。



捕獲したトンボの体長を測定する様子。



小さなイトトンボを傷つけないよう、優しく扱います。

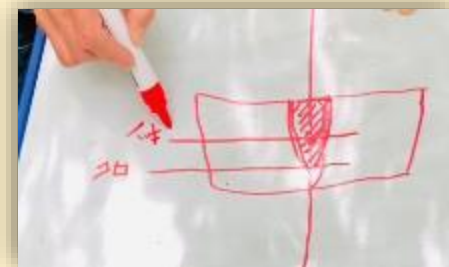


互井講師による詳しい解説。



## クロスジギンヤンマの羽化殻(♀)

第9腹節の産卵管の形状(長さ)で、ギンヤンマ♀と見分けます。



ショウジョウトンボ♂(未熟個体)



シオカラトンボ♂(未熟個体)

# トンボ調査会

ジュンサイを残そう市民の会

2023年5月14日(日)

例年一般の参加者を募集して『トンボ観察会』を実施していますが、今年には新型コロナ感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)

徐々に気温が上がって  
きました。  
11時半頃、クロスジ  
ギンヤンマのタンデム  
が目撃されました。



アオモンイトトンボ♂



アオモンイトトンボ♀ (青色オス型)



アジアイトトンボ



翅に調査済みの  
マークをつけてあります。



調査会の後に、  
互井講師主催の  
トンボ工作教室  
を実施しました。



## じゅん菜池管理地内 調査結果

アジアイトトンボ	4 (2♂、2♀)
アオモンイトトンボ	6 (3♂、3♀)
シオカラトンボ	1♂、羽化個体1発見
ショウジョウトンボ	1♂
クロスジギンヤンマ	羽化殻1♀